

理数探究基礎

基礎科学演習「協働的に課題を解決する」

2026.5.8

今回は、柔軟な発想を引き出す「ブレインストーミング」と、集まったアイデアを構造化する「KJ法」を体験しました。各グループで設定したテーマに対し、付箋を使いながら活発な意見交換を行いました。

批判しない・・・他人の意見を批判しない。

自由奔放・・・柔軟な思考で、思いついた考えを自由に出す。

質より量・・・できるだけ多くのアイデアを出す。

発展便乗・・・他人の意見に自分のアイデアをプラスして新しい意見を作る。

上記ブレインストーミングの4原則を守りながら付箋が模造紙いっぱい広がる中、生徒たちは楽しみながらも真剣に思考の整理に取り組んでいました。ここで学んだプロセスを、今後の探究活動や実社会の課題解決に繋げていくことを期待しています。

～感想～

・多くのアイデアを出すことで一つひとつがつながり、そのお題には何が必要なのか本質が見えてくると思った。

・一つの答えは出せなかったが、グループで協力して答えに近づくことができたと思う。

・気を抜くと否定しそうになるため、常に意識しておくべきだと思った。

・最終的に出来上がった紙面を見て、さらに議論するのも面白そうだった。

